

『おおきな木（通級指導教室）』だより



豊中市立大池小学校 R3（2021）4・16 No.1

『おおきな木（通級指導教室）』のご案内

今年度、元気な声とともに新しい年度がスタートしました。

おたより No. 1 では、『おおきな木（通級指導教室）』についてお知らせします。

（『おおきな木』は、豊中の通級指導教室の愛称です）

Q1 何のための「教室」ですか？

2019年度、大池小学校にできた、支援が必要な人たちのための教室です。

「小学校学習指導要領」第1章総則により、日本全国の学校に設置されています。豊中では小学校7校、中学校3校に設置されています。

最近は高等学校でも「通級指導教室」が設置されるようになりました。

Q2 どんな子どもたちが対象ですか？

- ① 落ち着きがなく、気が散りやすい
- ② 漢字が覚えられない。形がとらえにくい
- ③ 文字を書くことが苦手
- ④ 予定を立てたり、ものや時間の管理をしたりするのが苦手
- ⑤ 感情のコントロールがむずかしい
- ⑥ コミュニケーションをとるのが苦手
- ⑦ 人間関係を築くのが苦手
- ⑧ 他者の視点で考え、他者の感情を理解することがむずかしい
- ⑨ 声にだして発表することや、人前で話すことが不安
- ⑩ 原因はわからないが、学校や教室が不安、落ち着かない

このような“困り感”をもっている子どもたちが対象です。

Q3 何をしますか？

このような“困り感”をもつ子どもたちは、注意したり叱ったり、あるいは何度も繰り返し学習したりするだけでは問題が解決しにくい場合が多いです。

『おおきな木』では、「読む・書く・聞く」などに特化した学習やSST（ソーシャルスキルトレーニング）など、通常の学習指導とはちがった角度から“困っている子どもたち”を支援します。

指導内容は、本人の“困り感”“苦手感”によってさまざまですが、たとえば

- ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）の、ワークシートやゲーム、ロールプレイなど
- ・「ことば」「聞く」「見る」「読みとり」「かず・かたち」などに特化した教材
- ・苦手な学習がある場合、「わからないところ指導」と学び方指導
- ・予定を立てる、見直しをもつための、『予定ノート』の活用
- ・気持ちがやわらぎ前向きになれる「とくいなこと・すきなこと」の時間

※主体は本人です。本人にとって「いい時間」になるよう教育課程を組みます。

※学習指導については、担任の先生と連携してすすめます。

※小グループ指導は、グループの組み方等、本人と相談して行います。

Q4 どのように「申し込み」をしますか？

『おおきな木』に通ってみようかな、と思われたら、まず校長先生か担任の先生にご相談ください。“話を聞いてみたい”“部屋を見てみたい”という見学希望もお聞きします。だれでも、いつでも申し込みできますが、本人と保護者さんで、ご一緒に考えてください。

大池小学校以外の学校の方は、在籍校の校長先生を通して豊中市教育委員会 支援教育係（6844 - 5293）にご連絡ください。

Q5 入級から退級までの流れ

本人、保護者さん（高学年の場合は本人だけでも可です）、担任の先生と面談して、

- ・どんなことに困っているか（勉強か、友達づきあいか、集中力か、ものの管理か、時間の管理か…等々）を伺います。
- ・『おおきな木』で何をするか、相談して決めます。
- ・クラスの時間割をもとに、『おおきな木』に通う曜日・時間を決めます。

『おおきな木』での指導が必要なくなったとき、退級します。

Q6 場所はどこですか？

のぞみ校舎3階の部屋です。慣れるまでは迷子になってはいけないのでお迎えにいき、終わったら教室まで送ります。

※大池小学校以外の方は、保護者同伴での通級になります。

Q7 感染対策は？

- ・午後からの指導時間のはじめに検温を行います。
- ・マスク着用、手洗いを徹底します。
- ・机、いすなどの消毒をおこないます。
- ・窓は開けたままにしておきます。

（豊中市立大池小学校 通級指導教室担当：藤木桂子）